

# 平成16年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成15年8月22日

上場会社名 **株式会社アルプス物流**

（コード番号：9055 東証市場第2部）

（URL <http://www.alpsbutsuryu.co.jp/ir/index.htm>）

代表者 役職名 代表取締役社長 氏名 安間 洋一

TEL：(045) 531 - 4133

問合せ責任者 役職名 取締役 管理担当 氏名 山本 勝茂

## 1. 四半期連結損益計算書等の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 会計処理方法の変更 有 無  
中間決算等と異なる主な簡便的な会計処理方法  
・税効果会計に簡便法を適用

連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 連結（新規）1社（除外）0社  
持分法（新規）0社（除外）0社

（注）当第1四半期は四半期決算開示の初年度のため、前年同四半期の記載は行っていません。

## 2. 平成16年3月期第1四半期の業績概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

### (1) 経営成績（連結）の進捗状況

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		当期(四半期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年3月期第1四半期	10,245	( - )	1,154	( - )	1,145	( - )	583	( - )
(参考)15年3月期	39,132		3,799		3,701		1,977	

	1株当たり 当期(四半期)純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	
	円	銭	円	銭
16年3月期第1四半期	35	73	-	
(参考)15年3月期	118	94	-	

（注）当第1四半期は四半期決算開示の初年度のため、売上高、営業利益等におけるパーセント表示（対前年同四半期比増減率）の記載は行っていません。

### [ 経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期のわが国経済は、企業収益の改善などを受けて民間設備投資に穏やかな持ち直しが見られるものの個人消費や雇用情勢は低迷し、景気は依然として停滞感の強い中で推移しました。

このような中で当社及びグループ各社は引き続き国内外の拠点及びネットワークの強化・拡充を推し進めると同時に各事業の効率化と体質強化に積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期の業績につきましては、懸念されたSARSの影響も殆どなく国内外の顧客ニーズに対応することにより、国内物流事業・国際物流事業ともに売上高は順調に推移してまいりました。

これらの結果、当第1四半期の売上高は10,245百万円、営業利益1,154百万円、経常利益1,145百万円、当第1四半期純利益は583百万円となりました。

なお、当第1四半期は四半期決算開示の初年度であるため、前年同期との比較分析は行っていません。

## (2) 財政状態（連結）の変動状況

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円
16年3月期第1四半期	32,371	14,616	45.2	895.79
(参考)15年3月期	30,758	14,166	46.1	865.98

## 【連結キャッシュ・フローの状況】

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	131	458	740	6,055
(参考)15年3月期	3,929	1,961	26	5,909

## [ 財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等 ]

当第1四半期の総資産は、前連結会計年度に比べ16億12百万円増加し323億71百万円となりました。

これは主に受取手形及び営業未収金の増加3億96百万円と株式会社流通サービスにおける騎西物流センターの増築（平成15年11月完成予定）及びアルプス物流（上海）有限公司における新倉庫棟増築（平成15年7月完成）による建設仮勘定の増加11億円などによるものであります。

また、株主資本は前連結会計年度と比べ4億50百万円増加致しましたが、倉庫建設資金の借り入れなどにより株主資本比率は45.2%と前連結会計年度と比べ0.9%低下致しました。

## (連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払10億80百万円の影響により、マイナス1億31百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、(株)流通サービス及びアルプス物流（上海）の倉庫建設等により4億58百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは(株)流通サービスが倉庫建設資金として長期借入を行ったことによりプラス7億40百万円となりました。

以上により、当第1四半期のフリー・キャッシュ・フローはマイナス5億89百万円に、また為替換算差額を含めた総合キャッシュ・フローはプラス1億46百万円になりました。

## (参考1) 四半期個別経営成績等の概況（平成15年4月1日～平成15年6月30日）

(注) 記載金額は百万円未満を切捨てて表示しています。

	売上高	営業利益	経常利益	当期(四半期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
16年3月期第1四半期	5,800 ( - )	634 ( - )	665 ( - )	369 ( - )
(参考)15年3月期	22,406	2,136	2,205	1,207

	総資産	株主資本
	百万円	百万円
16年3月期第1四半期	21,239	12,266
(参考)15年3月期	21,495	12,023

3. 平成16年3月期の連結業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高 百万円	予想経常利益 百万円	予想当期純利益 百万円	1株当たり 予想当期純利益	
				円	銭
中間期	19,700	1,670	840	51	49
通期	40,300	3,760	1,860	114	01

（注）予想営業利益（中間期）1,710百万円（通期）3,800百万円

〔業績予想に関する定性的情報等〕

当第1四半期においては、期初の想定に対して若干上回ったものの、当第2四半期並びに当下半期については、国内外ともに未だ不透明な状況が想定されるため、現時点では慎重に今後の動向を見る必要があるものと考えております。

従いまして、当中間期及び通期の連結業績予想につきましては、平成15年5月に発表した見通しの修正を行っておりません。

（参考2）平成16年3月期の個別業績予想（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

	予想売上高 百万円	予想経常利益 百万円	予想当期純利益 百万円	1株当たり年間予想配当金		
				中間	期末	
				円 銭	円 銭	円 銭
中間期	11,000	1,050	600	7 50	-	-
通期	22,200	2,200	1,200	-	7 50	15 00

（注）予想営業利益（中間期）950百万円（通期）2,100百万円

（業績予想の利用に関する注意事項）

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、多分に不確定な要素を含んでおりますことをご承知おきください。

# 1. 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目	16年3月期第1四半期 (平成15年6月30日現在)		15年3月期 (平成15年3月31日現在)		対前期 増 減
		%		%	
( 資 産 の 部 )					
流 動 資 産					
1. 現 金 及 び 預 金	6,238		6,159		78
2. 受取手形及び営業未収金	6,918		6,522		396
3. 繰 延 税 金 資 産	444		433		10
4. そ の 他	1,324		1,250		73
5. 貸 倒 引 当 金	21		27		6
流 動 資 産 合 計	14,904	46.0	14,338	46.6	566
固 定 資 産					
1. 有 形 固 定 資 産					
(1) 建 物 及 び 構 築 物	6,164		6,184		20
(2) 機 械 装 置 及 び 運 搬 具	903		916		13
(3) 工 具 器 具 備 品	299		299		0
(4) 土 地	6,447		6,447		-
(5) 建 設 仮 勘 定	1,100		0		1,100
有 形 固 定 資 産 合 計	14,915	46.1	13,849	45.0	1,066
2. 無 形 固 定 資 産					
(1) 連 結 調 整 勘 定	0		0		0
(2) そ の 他	899		904		4
無 形 固 定 資 産 合 計	900	2.8	905	3.0	5
3. 投 資 そ の 他 の 資 産					
(1) 投 資 有 価 証 券	357		313		44
(2) 繰 延 税 金 資 産	268		307		39
(3) そ の 他	1,065		1,116		50
(4) 貸 倒 引 当 金	41		72		31
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	1,650	5.1	1,665	5.4	15
固 定 資 産 合 計	17,466	54.0	16,420	53.4	1,046
資 産 合 計	32,371	100.0	30,758	100.0	1,612

(単位 百万円)

科 目	16年3月期第1四半期 (平成15年6月30日現在)		15年3月期 (平成15年3月31日現在)		対前期 増 減
		%		%	
(負債の部)					
流動負債					
1.支払手形及び営業未払金	3,475		3,397		77
2.短期借入金	3,145		2,844		300
3.賞与引当金	564		628		63
4.その他	3,804		3,488		316
流動負債合計	10,989	33.9	10,358	33.7	631
固定負債					
1.長期借入金	4,686		4,274		412
2.繰延税金負債	2		4		1
3.退職給付引当金	315		319		4
4.役員退職慰労引当金	325		369		44
5.連結調整勘定	8		1		6
6.その他	-		22		22
固定負債合計	5,338	16.5	4,992	16.2	346
負債合計	16,328	50.4	15,350	49.9	977
(少数株主持分)					
少数株主持分	1,426	4.4	1,242	4.0	184
(資本の部)					
資本金	1,494	4.6	1,494	4.9	-
資本剰余金	1,440	4.5	1,440	4.7	-
利益剰余金	11,546	35.7	11,121	36.1	424
その他有価証券評価差額金	48	0.1	22	0.1	26
為替換算調整勘定	98	0.3	97	0.3	1
自己株式	12	0.0	9	0.0	2
資本合計	14,616	45.2	14,166	46.1	450
負債・少数株主持分及び資本合計	32,371	100.0	30,758	100.0	1,612

(注) 当第1四半期は四半期決算開示の初年度のため、前年同四半期との対比を行っておりません。

## 2. 四半期連結損益計算書

(単位 百万円)

科 目	16年3月期第1四半期 (自 平成15年 4月 1日 至 平成15年 6月30日)		15年3月期 (自 平成14年 4月 1日 至 平成15年 3月31日)	
		%		%
売 上 高	10,245	100.0	39,132	100.0
売 上 原 価	8,507	83.0	33,085	84.5
売 上 総 利 益	1,737	17.0	6,047	15.5
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	583	5.7	2,247	5.8
営 業 利 益	1,154	11.3	3,799	9.7
営 業 外 収 益				
1.受 取 利 息	2		21	
2.そ の 他 の 営 業 外 収 益	21		89	
計	23	0.2	111	0.3
営 業 外 費 用				
1.支 払 利 息	30		125	
2.そ の 他 の 営 業 外 費 用	1		82	
計	32	0.3	208	0.5
経 常 利 益	1,145	11.2	3,701	9.5
特 別 利 益				
1.過 年 度 前 払 費 用 修 正 益	-		160	
2.そ の 他 の 特 別 利 益	46		33	
計	46	0.5	193	0.5
特 別 損 失				
そ の 他 の 特 別 損 失	2		57	
計	2	0.1	57	0.2
税金等調整前第1四半期(当期)純利益	1,190	11.6	3,838	9.8
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税	489	4.8	1,729	4.4
法 人 税 等 調 整 額	11	0.1	196	0.5
少 数 株 主 利 益	106	1.0	327	0.8
第 1 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益	583	5.7	1,977	5.1

(注) 当第1四半期は四半期決算開示の初年度のため、前年同四半期との対比を行っておりません。

### 3. 四半期連結剰余金計算書

(単位 百万円)

期 科目	16年3月期第1四半期 〔自 平成15年 4月 1日〕 〔至 平成15年 6月30日〕		15年3月期 〔自 平成14年 4月 1日〕 〔至 平成15年 3月31日〕	
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高				
資本準備金期首残高	1,440	1,440	1,440	1,440
資本剰余金期末残高		1,440		1,440
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高		11,121		9,382
利益剰余金増加高				
第1四半期(当期)純利益	583	583	1,977	1,977
利益剰余金減少高				
配当金	122		220	
役員賞与	36	158	18	238
利益剰余金期末残高		11,546		11,121

## 4. セグメント情報

### 1. 事業の種類別セグメント情報

16年3月期第1四半期（自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日）

（単位 百万円）

	国内物流 事業	国際物流 事業	商品販売 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	6,701	1,999	1,544	10,245	-	10,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-
計	6,701	1,999	1,544	10,245	-	10,245
営業費用	5,956	1,642	1,491	9,091	-	9,091
営業利益	744	357	52	1,154	-	1,154

（注）1. 事業区分は、内部管理上採用している区分によっています。

#### 2. 各事業区分の主な内容

- (1) 国内物流事業……日本国内における貨物の運送、保管及び流通加工等の事業
- (2) 国際物流事業……日本と海外地域との輸出入貨物取扱事業及び海外現地物流事業
- (3) 商品販売事業……包装資材及び成形材料の仕入及び販売事業

### 2. 所在地別セグメント情報

16年3月期第1四半期（自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日）

（単位 百万円）

	日本	アジア	北米	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	9,171	1,074	0	10,245	-	10,245
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	6	0	37	(37)	-
計	9,201	1,081	0	10,282	(37)	10,245
営業費用	8,203	902	23	9,129	(38)	9,091
営業利益	997	178	(22)	1,153	1	1,154

### 3. 海外売上高

16年3月期第1四半期（自 平成15年4月1日 至 平成15年6月30日）

海外売上高が、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。



## 5. 生産、受注及び販売の状況

### 1. 売上高実績

当第1四半期における売上高実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりです。

#### (1) 売上高実績

(単位 百万円)

区 分	16年3月期第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕	(参考) 15年3月期 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕
	売上高	売上高
国内物流事業	6,701	25,839
国際物流事業	1,999	7,133
商品販売事業	1,544	6,160
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-
合 計	10,245	39,132

(注) 1. 外注実績は、次のとおりです。なお、外注比率は、売上高に対する外注費の割合です。

(単位 百万円)

区 分	16年3月期第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕		(参考) 15年3月期 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	外注費	外注比率	外注費	外注比率
国内物流事業	1,724	25.7 %	7,212	27.9 %
国際物流事業	997	49.9	3,350	47.0
商品販売事業	-	-	-	-
セグメント間の内部振替高	-	-	-	-
合 計	2,721	26.6	10,562	27.0

2. 当第1四半期における主な相手先別の売上実績及び当該売上実績の総売上実績に対する割合は、次のとおりです。

(単位 百万円)

相手先名	16年3月期第1四半期 〔自平成15年4月1日 至平成15年6月30日〕		(参考) 15年3月期 〔自平成14年4月1日 至平成15年3月31日〕	
	売上高	総売上高に 対する割合	売上高	総売上高に 対する割合
アルプス電気株式会社	1,414	13.8 %	5,479	14.0 %
東北アルプス株式会社	913	8.9	4,270	10.9
アルパイン株式会社	556	5.4	2,325	5.9

3. 上記金額には消費税等は含まれていません。

4. 当第1四半期は四半期決算開示の初年度であるため、前年同期との対比は行っておりません。